



環境未来都市 北九州市

©Teitan, City of Kitakyushu

平成25年5月29日

環境局総務課 環境広報担当

担当課長：渡部、担当係長：末松

(TEL 582-2204)

「北九州エコマンズ」の実施について

1 目 的

市制50周年である本年は、エコライフステージ、エコテクノなど毎年開催の事業の拡大に加え、OECDグリーンシティ・プログラム北九州レポート発表記念会議やアジア太平洋RCE地域会議など、10月に多くの環境イベントや国際会議の開催が予定されている。

これらのイベントをトータルに市内外へ発信するとともに、北九州市民環境力の持続的発展を図るため、環境イベント等が開催される10月を「北九州エコマンズ」と称し、官民一体となって推進していく。

また、その推進組織として、「北九州エコマンズ推進会議」を設置する。

2 概 要

- 環境関連団体などが参加する「北九州エコマンズ推進会議」を設置し、官民一体となってエコマンズの周知や機運の醸成を図っていく。
- エコライフステージなどの既存の環境イベントのほかに、市民、NPO、企業などが同時期に実施する環境イベントを募集し、公認の「エコマンズ参加イベント」として、ホームページやガイドブックなどで一体的に周知・PRを図っていく。
- エコマンズのロゴマークを作成し、ガイドブックやポスターなどの印刷物や、主要なイベントの印刷物などにも掲載し、エコマンズの浸透を図っていく。
- 市政だよりやかえるプレス、市政テレビ、ラジオなどの広報媒体を活用して市内外へ広く発信する。

(※全体概要図…別紙1)

3 北九州エコマンズ推進会議について

- 参加団体…別紙2
- スケジュール…エコマンズまでに2～3回開催
- 第1回推進会議の開催…平成25年6月3日(月) 14:00～

4 主要なイベントについて

○国際会議関係

OECD、UNIDOなどの国際機関や、外務省、内閣官房などの国の機関が一堂に集結し、様々な側面から以下の国際会議を本市で行う。

- ① OECDグリーンシティ・プログラム北九州レポート発表記念会議
- ② 第3回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム
- ③ 都市づくりの将来に関する国際会議
- ④ 第6回アジア太平洋RCE地域会議 **別紙3**

※OECD…経済協力開発機構、UNIDO…国連工業開発機関

○エコライフステージ2013

積極的に環境活動を行っている市民・NPO・企業等が集結し、環境に配慮した様々なエコライフの提案・発表を行う西日本最大級の環境イベント。勝山公園大芝生広場、北九州市役所周辺で実施し、昨年は87団体が出展。昨年の参加者数は約15万6千人。今年で12回目。今回は100団体以上の参加を目指す。

…10月19日（土）～20日（日）



○エコテクノ2013

西日本最大規模の環境ビジネス見本市。環境保全やエネルギーなどに関する技術の展示やセミナーを実施。昨年は265団体が出展し、入場者数は27,588人。会場は西日本総合展示場新館。今回より、従来の「中小企業テクノフェア in 九州」に加え、「再生可能エネルギー先端技術展」、「九州国際テクノフェア」を併せて開催することで、規模を大幅に拡大。

…10月16日（水）～18日（金）



○市民いっせいまち美化の日

… 10月6日（日）

平成6年10月1日に「まち美化条例」が施行されたことから、毎年10月1日～7日を「清潔なまちづくり週間」と定め、10月の第一日曜日を「市民いっせいまち美化の日」として、多くの市民が地域の道路、公園、河川、海浜等の清掃活動を実施している。昨年の参加人数は9万1511人、ごみ収集量は24万5052kg。今回は10万人以上の参加を目指す。

○北九州まなびとESDステーション主催イベント（調整中）

北九州の全10大学が参加する北九州まなびとESDステーションは、大学と地域社会が連携する中で、実践活動を通じて、次世代を担う人材の育成に取り組むプロジェクトとして本年3月に設置された。市制50周年を記念して、大学生中心の主催イベントを開催する。内容については現在企画中。

○市民いっせい雑がみ回収グランプリ（調整中）

家庭ごみの減量化・リサイクル率の向上を目的に、分別が分かりにくい「雑がみ」について、市民参加のグランプリ形式による分別回収を行う「市民いっせい雑がみ回収グランプリ」を実施。回収した雑がみから、再生トイレットペーパーを製造し、回収した市民に還元する形で、地域内での資源循環を図っていく。